

事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業を中心に組み組んで参りました。研究助成事業は、サウンド技術振興部門に40件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は15件の応募がありその中から5件に助成金を交付致しました。音楽普及支援等事業は音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘して演奏と特別レッスン、及びコラボレーション研究発表会を開催しました。講演会等事業は、研究助成テーマから8件を選んで講演会を開催致しました。機関誌「サウンド」は第33号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業はサウンド技術と音楽に関する技術調査を行いました。以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

1. 研究助成事業

1) 平成29年度研究助成

平成28年12月より平成29年2月28日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等700件余へ機関誌「サウンド」第32号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、日本音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は33の大学等研究機関より40件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月10日開催の審査委員会にて10件を選定した。音楽振興部門は15の大学等研究機関より15件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月11日開催の審査委員会にて5件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成29年6月15日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職は申請当時、応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

(1) 日本伝統音楽「雅楽」の間の認知神経基盤を探る

マックス・プランク認知神経科学研究所
博士研究員 大黒 達也

(2) 透明圧電フィルムを用いた光音響画像化装置の開発

長岡技術科学大学大学院 工学研究科
助教 和田森 直

(3) 高精度数値解析によるインドの伝統打楽器「タブラ」のデザイン

九州大学大学院芸術工学研究院
准教授 鮫島 俊哉

(4) 空力音響解析を用いた舌癌患者の発音障害を軽減するリハビリテーション手法の開発

大阪大学歯学部附属病院
助教 野崎 一徳

(5) バスーン用ダブルリードの形態的特徴による力学的性質・演奏性能評価手法の開発

東京大学大学院農学生命科学研究科
助教 前田 啓

(6) 聴覚フィードバックにおける骨導音知覚の役割とその応用

北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科
教授 鵜木 祐史

(7) 音楽家のジストニアに伴う手指巧緻性低下のメカニズムの解明

上智大学理工学部音楽医科学研究センター 研究
プロジェクト・ポストドクター 奥 貴紀

(8) ロボットマーチングバンドの実現

大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻
助教 末岡 裕一郎

(9) スマートフォンを用いた音響場の撮影技術の開発

東京農工大学 工学部
准教授 田川 義之

(10) 日本語はピッチの知覚に影響するか

ケント大学 言語学専攻
博士課程 小林 純生

【音楽振興部門】

(1) 小中学校教員と連携して開発する音楽科授業におけるITC機器を活用したActive Learningのモデルプラン～ICレコーダーを「音の鏡」として、「気づく・感じ取る・比べる・考える・まとめる・伝える活動」により音楽的自立をめざす活動～

愛知教育大学 音楽教育講座
教授 新山王 政和

(2) 戦後のシカゴにおける日本音楽の活動と発展:戦前との比較分析を通じて

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
准教授 安納 真理子

(3) 伊勢大神楽と地域環境が生み出すサウンドスケープに関する分析的研究

東京藝術大学 音楽学部楽理科
教育研究助手 神野 知恵

(4) 近代日本における語り芸の「大衆化」-説教源氏節を事例に

国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター
アソシエイトフェロー 藪田 郁

- (5) 西欧中世のオルガン鍵盤の復元と音楽実践-楽器と身体、音楽の相互的な関係の理解を目指して-

九州大学大学院芸術工学府
博士課程 光永 誠

2) 助成研究成果報告概要の配信

平成28年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

3) 平成30年度研究助成募集活動

平成29年12月より平成30年2月28日を締切日とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

2. 音楽普及支援等事業

1) 第8回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、若手ピアノ演奏家を対象にピアノ演奏レッスンを開催した。財団ホームページを通じ広報と募集を行い、受講枠が全て埋まった。概要は以下の通りである。

名 称 ローナン・オホラ教授 ピアノ演奏 特別レッスン
開催日 平成29年5月22日、23日、24日
会 場 カワイ表参道 3階 スタジオA
講 師 ローナン・オホラ
受講枠 15 (受講者15名)
受講費 無料

2) 第9回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的に日本音楽文化への新たな挑戦を目指すピアノとジャンルを超えたコラボレーション研究発表会を開催した。財団ホームページを通じて募集を行い、一次・二次審査を通過した3名の内2名が研究発表を行った。概要は以下の通りである。

名 称 ピアノとジャンルを超えたコラボレーション研究
・一次審査(書類審査) 審査期間 9月~10月
・二次審査(プレゼンテーション〔口頭、演奏〕)
開催日 平成29年12月25日(月)
会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ
受賞者は次の通りである。(応募受付順、カッコ内は担当楽器)

- (1)「ピアノ」・「歌」・「馬頭琴」が織りなす華麗なる日蒙音楽の融合

アヨーシ・バトエルデネ(馬頭琴)

- (2)和楽器と洋楽器の音楽的相違の検証と、ジャンルを超えた共演の研究

正田温子(篠笛)

(3) 箏とピアノによる共演の可能性—様々なジャンルを通して—

山水美樹(箏)

・演奏確認会

開催日 平成30年2月8日(木)

会場 カワイ表参道 2階 パウゼ

演奏者 (1) 山水美樹(箏)

《共演者》正住真智子(ピアノ)

(2) 正田温子(篠笛)

《共演者》成田七海(チェロ)、上水樽力(ピアノ・作曲)、辻田絢菜(作曲)

・研究発表(受賞者演奏会)

開催日 平成30年3月12日(月)

会場 カワイ表参道 2階 パウゼ

発表者 (1) 山水美樹(箏)

《共演者》正住真智子(ピアノ)

(2) アヨーシ・バトエルデネ(馬頭琴)

《共演者》石川 潤(ピアノ・作曲)、安居 淳(歌)

受講費 無料

3. 講演会等事業

1) 研究助成受賞者講演会(第32回研究助成講演会)

開催日 平成29年10月26日(木)

会場 カワイ表参道 2階 パウゼ

聴講者 20名

受講費 無料

後援 経済産業省

演題 研究助成テーマより(講演順)

【音楽振興部門】平成28年度研究助成テーマ

北タイにおける音律について—ジャウ・ストーンによる音律の設定
をめぐって—

東京藝術大学音楽学部学理科
専門研究員 宮内基弥

【サウンド技術振興部門】平成28年度研究助成テーマ

筋活動の視覚フィードバックによるトランペット練習支援に関する研究

筑波大学図書館情報メディア系
助教 松原正樹

【サウンド技術振興部門】平成28年度研究助成テーマ

生伴奏による身体表現変容の可能性～動作特性の検討～

お茶の水女子大学大学院基幹研究院人文科学系
准教授 水村真由美

2) 研究助成受賞者講演会(第33回研究助成講演会)

期日 平成30年1月23日(火)

会場 アクトシティ浜松研修交流センター 6階 62研修交流室

聴講者 50名

受講費 無料

後援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所

演題 研究助成テーマより（講演順）

【音楽振興部門】平成25年度研究助成テーマ

海水面の振動による超低周波音を用いたサウンド・アートの制作

九州大学大学院芸術工学府

博士課程 岡崎峻

【サウンド技術振興部門】平成27年度研究助成テーマ

異なる習熟度に対応したバイオリン運指推定に関する研究

名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻

助教 酒向慎司

【サウンド技術振興部門】平成27年度研究助成テーマ

パブリック・スピーキングの音響分析：日本人の国際的発信力強化に向けて

芝浦工業大学工学部

助教 山下友子

【サウンド技術振興部門】平成24年度研究助成テーマ

気流中を伝播する騒音の特性に関する研究

富山県立大学工学部機械システム工学科

講師 寺島修

【サウンド技術振興部門】平成24年度研究助成テーマ

超低周波音波計測を用いた巨大津波検知の研究

首都大学東京システムデザイン学部

准教授 大久保寛

4. 情報の提供等事業

平成29年度研究助成受賞者であるマックス・プランク認知神経科学研究所博士研究員大黒達也氏、九州大学大学院准教授鮫島俊哉氏、北陸先端科学技術大学院大学教授鶴木祐史氏、ケント大学小林純生氏、愛知教育大学教授新山王政和氏、九州大学大学院光永誠氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第33号を編集し平成30年1月発行。大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等650件余へ配布した。

5. 調査研究事業

発音素材、及び新規技術に関する技術調査研究を実施した。

6. 評議員会・理事会等の開催

1) 定款第35条に基づく決議提案（第17回理事会）

(1) 提案

第1号議案 評議員会開催承認の件

議案内容 平成29年6月5日から法人の主たる事務所を品川区に置く
定款変更のための評議員会開催承認決議

(2) 結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成29年4月5日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

2) 第18回理事会

(1) 期日及び場所

平成29年5月17日（水）カワイ表参道

(2) 附議事項

第1号議案 平成28年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成29年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏 鷺津 有一氏 (50音順)

3) 定款第19条に基づく決議提案（第7回評議員会）

(1) 提案

第1号議案 定款第2条（事務所）変更の件

第2号議案 法人の主たる事務所を品川区に置く 変更の件

議案内容 定款第2条（事務所）変更について承認決議、及び定款第2条（事務所）に記載する主たる事務所を品川区とする承認決議を行う。法人の主たる事務所を東京都渋谷区代々木一丁目36番4号から東京都品川区東品川四丁目10番27号に移転する。効力発生日を平成29年6月5日とする

(2) 結果

第1号議案、第2号議案について代表理事河合弘隆より評議員全員に対して、評議員会の決議の目的である事項について提案がなされ、当該提案につき評議員全員から同意する旨の書面を受領したため、平成29年5月20日に定款第19条の規定に基づき、第1号議案、第2号議案は評議員会の決議があったものとみなされた。

4) 第8 回評議員会

(1) 期日及び場所

平成29年6月15日(木) 東京ガーデンパレス

(2) 附議事項

第1号議案 平成28年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成29年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

第3号議案 理事選任に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号、第2号、第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 大津 展之氏 花田 修治氏 (50音順)

なおこの折り平成29年度研究助成金の贈呈式を併催した。

5) 定款第35条に基づく決議提案(第19回理事会)

(1) 提案

第1号議案 河合楽器株主議決権行使承認の件

議案内容 平成29年6月27日開催の株式会社河合楽器製作所第90期定時株主総会における全ての議案(第1号議案から第5号議案)に財団所有の同社株主議決権を行使し、全ての議案に(賛)を投ずる。

(2) 結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成29年6月19日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

6) 定款第35条に基づく決議提案(第20回理事会)

(1) 提案

第1号議案 代表理事選定の件

第2号議案 業務執行理事選定の件

議案内容 当財団の代表理事を河合弘隆、業務執行理事を北村実音夫に選定する。

(2) 結果

第1号議案、及び第2号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成29年6月15日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案、第2号議案は可決されたとみなされた。

7) 定款第35条に基づく決議提案（第21回理事会）

(1) 提案

第1号議案 参与選任及び解任の件

議案内容 当財団の参与を下記のとおり選任、及び解任する。

参与選任者 永瀧 周氏（株式会社 河合楽器製作所）

参与解任者 鈴木 隆志氏（株式会社 河合楽器製作所）

(2) 結果

第1号議案は、書面、又は電磁的記録により理事全員から同意の意思、及び監事全員から異議がない意思が示され、平成29年9月30日に当該提案の理事会決議があったものとする第1号議案は可決されたとみなされた。

8) 第22回理事会

(1) 期日及び場所

平成30年3月13日（水）カワイ表参道

(2) 附議事項

第1号議案 平成30年度事業計画書(案)・収支予算書(案)の承認に関する件

第2号議案 議事録署名人の選任に関する件

(3) 議事進行要約

①第1号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第2号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 村上 二郎氏

7. 庶務事項

1) 内閣府への提出書類

平成29年6月27日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

①実施事業（公益目的事業）の状況等

②公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて

③当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書

④当該事業年度の損益計算書及び附属明細書

⑤当該事業年度の事業報告及び附属明細書

⑥当該事業年度の監査報告、会計監査報告

⑦当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

⑧当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表

2) その他

寄附金として、平成30年2月6日に株式会社木伏電気工業所より2万円を受理した。